

いままでは PCI において IVUS を使用はしていましたが、どちらかという性状を見極めるというよりステントを入れるために血管径をはかるといったことに重きをおいて使っていました。このたび、このような機会を与えて頂き今一度、体系的にレクチャーを受けることが出来て大変勉強になりました。

藤井先生がしきりに blood speckle を重点において読影されていたのが印象的でした。これにより dissection や hematoma など鑑別にあたり非常に有用であると思いました。また、ステント留置後のアンギオ上の透亮像がみえたときのプラークの逸脱と血栓付着の見分け方も初めて教えて頂き、ためになりました。

blood speckle...血球のノイズをひろったとききらきらする image

これによりその部分に血流・血液を認めることを示唆される。

air bubble...IVUS カテ内に空気が存在する。フラッシュが必要であるがトランスデューサー部をさわるだけでも混入するので Y コネから入れる直前にフラッシュするのが望ましい。まちがってもカテ内・冠動脈内でのフラッシュは厳禁

hematoma と dissection...

hematoma は中膜まで損傷している。IVUS では黒い中膜が血管内にみられる。
dissection は外膜と中膜の間で剥がれ、解離を起こしている。

angio の透亮像...

血栓の場合は、ステントストラットをまたいでべったりついている image

prolapse はストラットごとに plaque がでている image がみられる

など一部ですが、私にとって有用な知識が学べました。

これまではライブなどでも IVUS の image をみて解説を聞いて、こちらの一方的な解釈でしかなかった読影が、藤井先生の丁寧なレクチャーで体系的に学べたと思います。

できればこのようなミニグループで、講師の先生と近い距離でのレクチャー・ディスカッションは記憶にもとどまりやすく、その場で質問できたりするため今後のフェローコースでは時間を割いて取り入れて頂けたらと思います。

また、開催された際には参加できるかどうかはわかりませんが、是非応募させていただきたいと思います。